

令和2年5月19日

保護者の皆様

新潟市教育委員会

緊急事態宣言解除に伴う新潟市立学校園の再開に向けた対応について

新型コロナウイルス感染防止にかかわり、多大なるご尽力を賜り、感謝申し上げます。さて、国の緊急事態宣言の解除に伴い、下記のとおり市立学校園を再開するとともに、再開に向けた準備期間を設定します。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1 市立学校園再開日について

令和2年6月1日（月）から再開します。

2 再開に向けて（5月29日までは授業日数、授業時数にはカウントしません）

- 5月26日（火）まで
当初の計画どおり、毎日、分散登校園を実施します。
- 5月27日（水）から29日（金）まで
学校園再開に向けた準備期間とします。朝からの生活リズム、通常の学級人数での「新しい生活様式」による授業・保育等に慣れることを目的に、これまで午前の部と午後の部に分散していたお子さんが全員午前から登校・登園し、給食を食べてから帰ります。
この3日間に学校園で過ごす時間割については、各校園から連絡します。

3 預かりについて

- 5月26日（火）まで
学校園預かり、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスは現行どおりとします。
- 5月27日（水）から29日（金）まで
放課後児童クラブ、放課後等デイサービス利用者は、給食後にそれぞれの施設に移動します。
- 学校園預かりは原則、行いませんが、必要がある場合は、学校園にご相談ください。

4 感染予防の取組について

各学校園では、分散登校園期間、準備期間、6月1日の再開後も感染防止対策を更に徹底します。なお、学校園における感染防止対策等の指針を改めてまとめた「ガイドライン改訂版」「新しい生活様式指導資料」を、各学校園に送付するとともに、6月1日を目途に市のホームページに掲載予定です。

5 その他

参考までに、令和2年5月15日に行われた県の専門家会議において、新潟大学大学院医歯学総合研究所 齋藤昭彦教授（小児科学分野）が提示された資料の一部（「子どものコロナウイルス感染症の特徴」）を、本人の了承を得たうえで引用させていただきます。

1 国内外において子どもの感染者数は少ない

- 海外の小児の感染者
 - ・ 中国（2.4%）、米国（1.7%）、韓国（6.2%）
- 国内の小児の感染者（2020年5月7日現在）
 - ・ 0-19歳：606名（3.9%）（人口に占める割合は17%）

2 子どもは感染しても、無症状が軽症が圧倒的に多く、子どもの重症例は少ない

- 国内の小児（0-19歳）の重症例：2/609（0.3%）
- 海外（中国、シンガポール）（0-9歳）1/444（0.2%）

3 感染の主体は大人から子どもである

- これまで「子どもから大人」、「子どもから子ども」の伝播の報告は極めて少ない。
 - ・ 香川県の保育園（職員11人の感染で園児の感染は2/147）
 - ・ 富山市の小学校の事例（教師1名、生徒5名の感染）は学校内のクラスターでないと判断
- 海外での報告
 - ◇ オーストラリア
 - ・ 15の学校で18人の感染者が863人（職員128人、生徒735人）と濃厚接触後、感染は2名のみ
 - ◇ フランス(5)
 - ・ 症状のある9歳児が112名と濃厚接触後、感染者なし
- 国内でのこれまでの経験から
 - ・ 休園・休校中に開いていた保育園、学童保育などでの集団感染の報告なし
 - ・ 4月の学校再開後も、子どもが発端の園・学校のクラスター発生の報告なし

各学校園でも更に感染予防対策を徹底しますが、上記資料にあるとおり、「感染の主体は大人から子どもである」ことから、各家庭におかれましてもより一層の感染予防にご協力をよろしくお願いいたします。